



戸田1年生、まちを行く!

第25回 町会・自治会に参加しよう!



地元の町会に興味を持ったきっかけは、たまたま参加した近所のお祭り。お神輿やお囃子が町をにぎわせる中、母と子どもは輪投げやゲームを楽しみ、父は「この後一杯どうですか?」の誘いに乗って町会の飲み会に参加し、半ば勢いでそのまま町会へ加入(!)。町会って何だか大変そうなイメージもあったけれど、実際入ってみると近所に顔見知りがたくさんできて心強い。ああ、地元

の安心感ってこういうこと。今の時代、ご近所付き合いや地域との関わりが薄くなってきているけれど、いざという時は「遠くの親戚より、近くの他人」。特に他県から移り住んだ私たちのような転入者には、地域と「顔が見えるお付き合い」ができることはありがたいのだ。「娘さん元気?」と気にかけてくれたり、「これもらって〜」とおすそ分けをいただいたり、だんだん交流が生まれてきた。そして…

今月の注目ポイントはここ!

戸田市町会連合会



現在、市内には47の町会・自治会があり、同じ地域に住む人同士が親睦と交流を深め、住みよい地域をつくるためにさまざまな活動を行っています。防犯、防災活動のほか、お祭りや餅つき大会、クリスマス会など、子どもと一緒に楽しめる季節のイベントがたくさん。子どもからお年寄りまで、世代を超えた交流が楽しめるのも魅力です。

戸田市の町会・自治会について気になった方は

[戸田市 町会](#) で検索



戸田市町会連合会 会長
市川悦夫さん

防災は「自助」「共助」「公助」に加え、近くの人たちで助け合う「近助」が必要不可欠です。戸田は転入者が多いまちだからこそ、町会を通して地域の輪を広げてもらえればと思います。昔は地元の年長者が中心で入りづらい雰囲気もありましたが、今は若い世代の皆さんと一緒にベテランの世代も取り組むのが令和らしい町会のあり方だと思うので、若い人に積極的に参加いただき、住みやすいまちを一緒につくっていききたいですね。

昨年はコロナ禍であまり活動ができなかったため、今年こそ子どもたちが楽しめるイベントをしたいと思っています。まずは気軽に参加してみてください。



イラストレーター
アイヨウコ

埼玉県民。イラストレーター。小・中学生男子2児の母。家事に仕事に育児に毎日バタバタ過ごしています。我が家はそろって人見知りなのでご近所さんになじむのに時間がかかりますが、少しずつ頑張りたいです。

こちら、とだっ子情報局

とだっ子情報局では、戸田にまつわる楽しい情報をクイズでお届けします。今回は、防災訓練についてのクイズです。

市では「戸田市総合防災訓練」を定期的に実施しています。何年に1回実施しているのでしょうか。

- ① 毎年
- ② 3年
- ③ 5年



答えは①「毎年」

「天災は忘れた頃にやってくる」。よく耳にするこの言葉は、今からおよそ100年前の1923年、関東地方を突然襲った大地震の被害を忘れないためにつくられた

といわれています。戸田市には、各町会・自治会で構成される自主防災会があり、市と協力して「戸田市総合防災訓練」を毎年実施しています。戸田市総合防災訓練では、地域の方の安否確認や避難支援、消火訓練など、実際の災害を想定したさまざまな訓練を実施し、いつ起こるか分からない災害に備えています。皆さんも自主防災会の活動に参加して、明日起こるかもしれない災害に近所の皆さんと備えておくことで安心ですね。



人形を使ったAEDの訓練

